

甲状腺クリーゼの患者様へのお知らせとお願い

愛媛大学大学院医学系研究科では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんの診療情報（カルテに記載されている検査結果など）を使用します。

【研究課題名】

甲状腺クリーゼ：多施設前向きレジストリー研究

【研究機関】 愛媛大学大学院医学系研究科及び全国の患者登録医療機関

【研究責任者】 三宅吉博（疫学・予防医学 教授）

【研究の目的】

厚生労働省及び国立研究開発法人日本医療研究開発機構の研究班が実施する難病のレジストリー研究の一環として、甲状腺クリーゼの多施設前向きレジストリー研究を実施しています。得られた成果は、病気の予防や診断・治療の向上に役立てたいと考えております。全国の協力医療機関において新規に甲状腺クリーゼと診断された方について、調査へのご協力とご理解をお願い申し上げます。愛媛大学大学院医学系研究科はレジストリー研究における情報収集の中核拠点として、研究に参加しています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 全国の協力医療機関において新規に甲状腺クリーゼと診断された患者さん

（利用する診療情報） 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等

【診療情報の収集について】

全国の協力医療機関から診療情報を収集します。

対象となる患者さんの診療情報は、各協力医療機関において匿名化します。米国 Vanderbilt 大学が開発したデータ集積管理システムである REDCap を愛媛大学大学院医学系研究科内に設置し、適切な管理のもと、各協力医療機関はオンラインで REDCap にデータを入力します。

【個人情報の取り扱い】

各協力医療機関において名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化した後、愛媛大学に診療情報を送信します。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<情報の管理責任者>

愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学 三宅吉博

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学 三宅吉博

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5283

Email: epi-prev@m.ehime-u.ac.jp

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業

研究課題：ホルモン受容機構異常に関する調査研究

研究代表者：赤水尚史

研究分担者：三宅吉博

国立研究開発法人日本医療研究開発機構難治性疾患実用化研究事業

研究課題：ホルモン受容機構異常症診療ガイドライン作成ためのエビデンス構築に関する研究

研究代表者：赤水尚史

研究分担者：三宅吉博